

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	平野区
学 校 名	大阪市立喜連北小学校
学校長名	廣岡 浩

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 68 名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率は、大阪市と比べ、国語は6ポイント、算数は7ポイント、下回った。また、全国平均と比較しても、国語では7.7ポイント、算数は8.2ポイント下回っている。
○無回答率については、大阪府と比べ、国語、算数ともに、全国平均とほぼ同レベルであった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「話すこと・聞くこと」「読むこと」で特に平均正答率が低く、課題が見られる。「話すこと・聞くこと」では、目的や意図に応じて話したり、目的や意図を聞きとり理解したりすることが難しい。「読むこと」では、文中の主語・述語の関係に注意して正しく読み取ったり、目的に応じて内容を的確に押さえ、自分の考えを持って読むことが難しい。普段より「話すこと・聞くこと」「読むこと」の機会を増やし、「正確に話す・聞く・読む」指導の徹底が必要である。

〔算数〕「図形」と「測定」で特に課題が見られる。「図形」では三角形の底辺や高さの関係を確実に理解できておらず、基本図形の面積を求める公式の理解も十分でなかった。「測定」では、速さ・道のり・時間について、数量の関係を捉えきれていなかった。今後も粘り強く数量に関わる数学的活動とこまやかな指導を継続する必要がある。

質問紙調査より

「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が74.2%であった。キャリアパスポートの効果的な活用を図ることでキャリア教育の充実を図る必要がある。「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の問いには「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が65.1%であった。保護者とのより一層の連携による家庭学習の充実を図る必要がある。また「英語の勉強は好きですか」の問いには「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童が85.4%で、大阪府の67.3%や全国の68.4%を大きく上回った。英語が教科となり、担任とC-NETとの協力体制のもと、充実した授業が展開されていることが、英語への苦手意識を低くしていると考えられる。

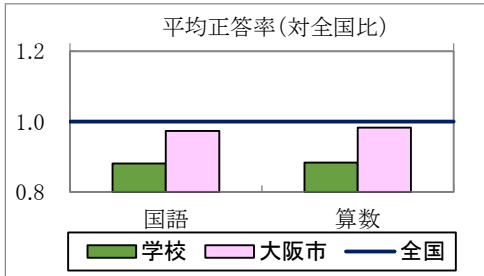
今後の取組(アクションプラン)

○国語・算数の習熟度別少人数授業では、引き続き年間指導計画の見直しや効果的な学習形態の工夫にさらに努めていく。
○学習データ配信等を積極的に利用し、各教科の基礎的・基本的内容の定着に努める。
○学習意欲と学習習慣を向上させる指導の徹底化を図る。そのために、家庭への啓発と読書活動の推進、家庭学習（宿題・課題）の見直しを図る。

【 全体の概要 】

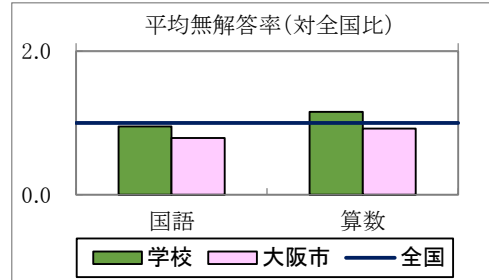
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	57.0	62.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	4.1	3.0
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



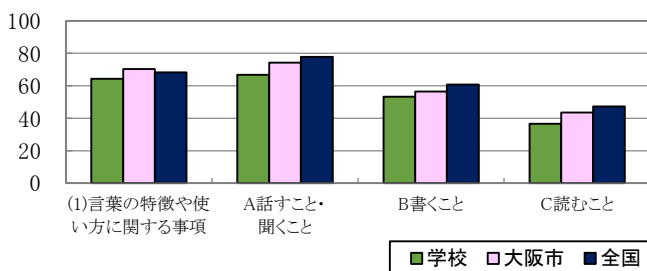
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	64.3	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	66.7	74.3	77.8
B 書くこと	2	53.2	56.4	60.7
C 読むこと	3	36.5	43.5	47.2

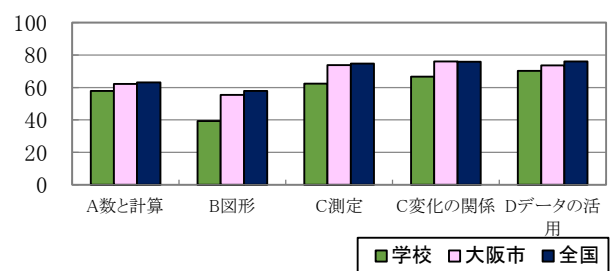
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	57.9	62.2	63.1
B 図形	3	39.2	55.4	57.9
C 測定	3	62.4	73.8	74.8
C 変化と関係	3	66.7	76.0	75.9
D データの活用	5	70.2	73.6	76.0

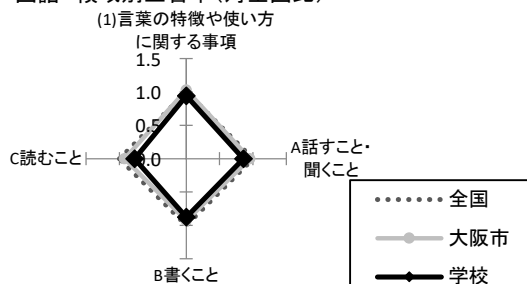
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



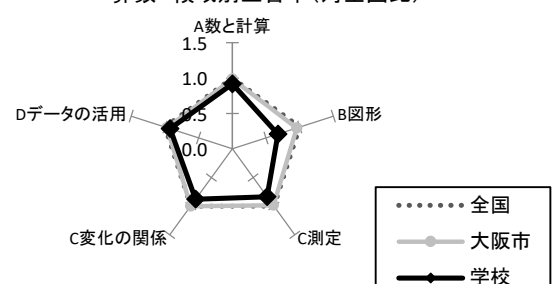
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

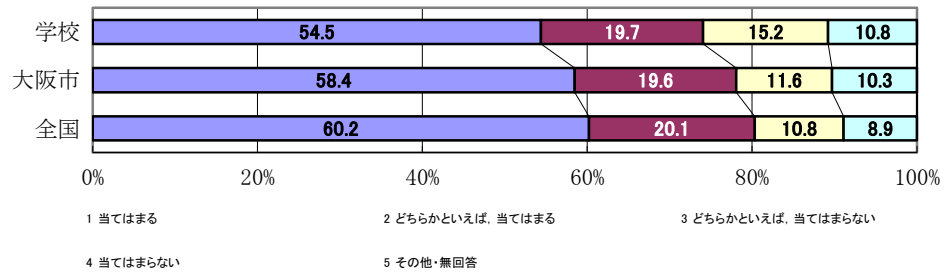
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

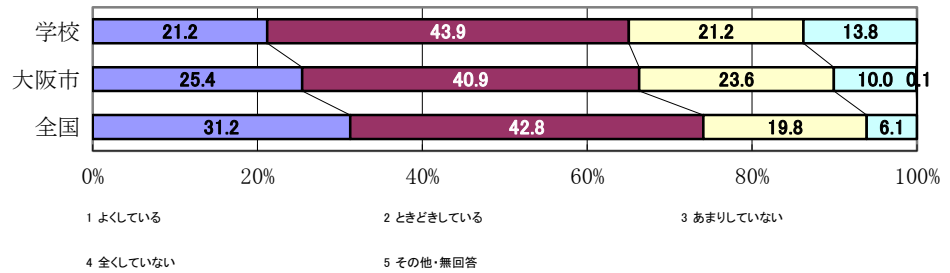
7

将来の夢や目標を持っていますか



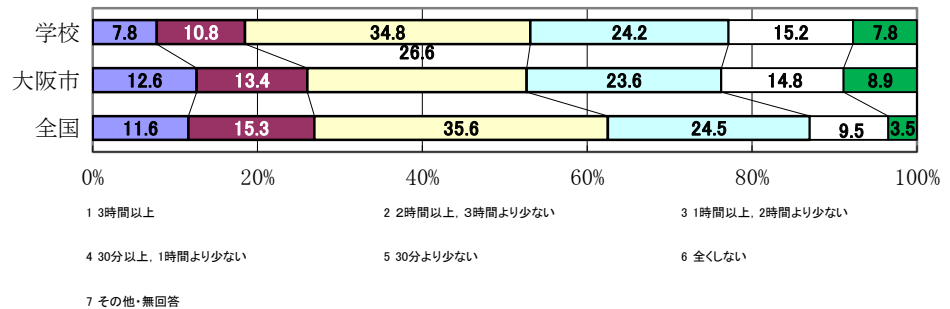
17

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



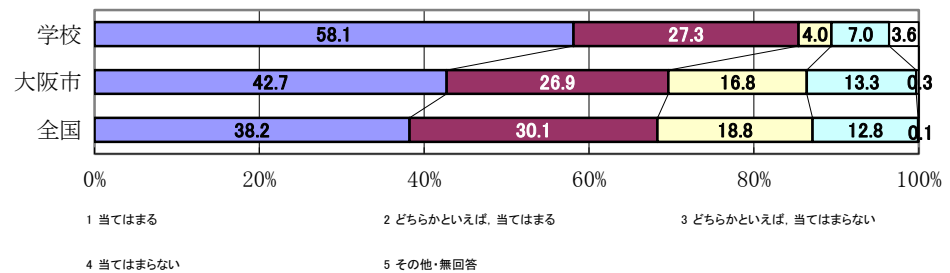
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



61

英語の勉強は好きですか



65

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか

